

建設水道常任委員会会議記録（概要）

平成26年12月2日（火）

開 会 （午前9時25分）

【議 事】

○議案第131号 「平成26年度所沢市所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地
区画整理特別会計補正予算（第1号）」

【補足説明】 な し

【質 疑】

石本委員

今回、特別会計の事業年度を7年間延長するということで、費用負担はどのぐらいになるのか。

新井狭山ヶ丘

区画整理事務

所長

平成27年度から平成33年度までの7年間ということで、事業費につきましては23億3,282万2,000円の増額になります。

石本委員

現在、本庁舎外に事務所を構えているが、そういった事業費の他に特別会計を持つことによって余計に係る経費はどのぐらいになるのか。

新井狭山ヶ丘

区画整理事務

所長

事務所の経費につきましては、年間約180万円から200万円かかっていますので、年間200万円として試算しますと7年間で約1,400万円かかることとなります。

石本委員	過去にこのように事業年度が延長された事例はあるのか。
新井狭山ヶ丘 区画整理事務 所長	一番長い事業年度は、現在施工中の狭山ヶ丘土地区画整理事業になります。平成26年で事業年度は28年目に入ったところです。平成25年度に終了しました第二上新井特定土地区画整理事業は、25年間の事業期間でした。狭山ヶ丘地区と隣接している狭山ヶ丘駅東口土地区画整理事業は27年間で終了しています。狭山ヶ丘土地区画整理事業は28年目ですので、7年延長しますと35年間になります。
石本委員	これまでの議論は、あの場所に事務所があることによって、地権者の方に誠意をみせるということだった。しかし、現実、伝わっていないとすると、7年間のうちで事務所を撤退するなどの考えがあるのか。
新井狭山ヶ丘 区画整理事務 所長	事務所につきましては、平成33年度まで存続したいと考えています。理由としては、区画整理事業は誠意を持って地権者の協力を得ながら進めていくことが望ましいと思っていますので、このまま事務所を撤退するようなことは今のところ考えていません。
石本委員	本庁から行くと誠意が伝わらないということか。
小山街づくり	現在、1,115人の地権者の方がいます。そのうち、仮換地指定され

計画部長

ているのが1,064人で、仮換地の未指定が51人で、大型地権者を含め、46人の御理解をいただいていない状況です。そうしたことから、事務所の撤退につきましては、大型の地権者だけでなく、まだ理解いただけない方々もいること、また、区画整理に協力していただいた方々への影響も考えますと、事務所を現地に置いて今後も引き続き、未指定の方、御理解をいただいていない方への交渉とともに、換地処分に向けて事務を進めていくことが必要ではないかと考えています。

石本委員

過去に区画整理を行った際には、仮換地指定が全て終了した段階で事務所を撤退しているのか。

小山街づくり

計画部長

基本的に今までの区画整理は、換地処分が終了するまでは現地に事務所を置いています。清算金の未収分については、事務所を閉鎖して本庁に戻ってきてから行っている状況です。

松本委員

事業期間の延長を7年間と決めた根拠は。

小山街づくり

計画部長

仮換地指定と移転補償の関係で2年間、道路工事、雨水貯留槽など大きな工事や上下水道関係の工事で2年間、換地計画の最終確定と換地処分、登記などで2年間、最終的に清算金の交付と徴収で1年間ということで、7年間の延長が必要だろうということで埼玉県と協議して、その結果、平

成33年度まで事業期間を延長することになりました。

杉田委員 来年度以降、順調に進んでいった場合に事業期間を短縮できる可能性はあるのか。

小山街づくり
計画部長 事業期間につきましては、早期完了を目指していますので短縮したいことは当然ですが、もし短縮するならば、仮換地の指定から移転補償まで2年間予定していますが、その期間を短縮できるのではないかと思います。

石本委員 同意が得られない場合は、また期間が延長になってしまうのか。

小山街づくり
計画部長 事業期間が長期にわたりコストがかかっていることは十分承知しているところですので、早期完了を目指して、地権者の方々の御理解を得ながら進めていくことが第一と考えています。目標として掲げた7年で完了するように鋭意努力したいと考えています。

石本委員 努力されていることは十分承知しているが、7年で完了するならば、最初の2年間くらいで目途がたたないと厳しいのか。

小山街づくり
計画部長 7年間の延長という計画をしていますので、2年間で理解を得られるように努力していきたいと考えています。

桑島委員

予算を認めなければどうなるのか。

小山街づくり

もし継続費が認められなかった場合は、単年度会計になります。

計画部長

桑島委員

トータルでみると事業としては赤字なのか。

小山街づくり

赤字かどうかは把握していませんが、事務所の経費で約180万円から

計画部長

200万円毎年かかっています。狭山ヶ丘駅東口の区画整理事業が27年間で、それ以上に事業期間が長くなるということです。事務所の経費等を考えますと、その分はコストがかかっているということは認識しています。

桑島委員

市が始めた以上は基本的には投げ出せないと思うが、ここまでの経緯については一定の評価が必要ではないか。順調に進んでいたものがなぜこんなにこじれてしまったのか。これだけの混乱を招いた当事者は何も処分されないのか。

小山街づくり

地権者の中になかなか御理解をいただけない方がいるということは、区

計画部長

画整理事業を始めた時点のことなので、あくまでも憶測になってしまうのですが、当初の話とその後の仮換地指定案について、市と地権者の間に認

識の違いがあったのではないかと考えています。そうしたことから、当時の職員の交渉の仕方に問題があったかどうかということは現時点では申し上げられませんし、当然のことながら鋭意丁寧な交渉を行ってまいったものと思っています。

桑島委員

7年間の継続を今の段階で認めていいのか悩むところである。本当に完了できるのか。

小山街づくり

現在、特別会計の継続費ということで、これまで事業を進めてきました。

計画部長

継続費の特徴として、逡次繰越があります。逡次繰越金が約2億8,600万円ありますが、この逡次繰越金につきましては、地権者の御理解がいただけた場合、予算執行することにより事業を進捗させるということも可能となります。継続費でお願いできればと考えています。7年間の延長ということで、この2年間で仮換地の指定から移転補償まで行う予定で考えていますので、今までよりもより一層鋭意交渉していきたいと考えています。

石本委員

7年の歳月はすごいと思っている。本事業の継続性について問われると思うが、この間の総括について検討できないか。

小山街づくり

これまで29.7haの事業地で事業を行ってきたわけですが、毎年度

計画部長

の決算上の数値は把握しています。また、実際に仮換地の指定済みと指定していない場所や、工事の施工済みと施工していない場所などは、資料としてまとまっていますので、それらを総括して一つの資料にまとめることは困難なことではないと思いますので、十分に検討したいと思います。街づくり計画部としては、実際に事業に協力していただいた方で、清算金の交付を受けていない方もいるという中で、相続等も発生しますと非常に複雑なことになってきますので、この7年間で事業を完了させるように鋭意努力していきたいと考えています。

荒川委員

今回、増額される23億円の内訳を見ると、半分近くが公債費である。公債費の財源はどこになるのか。

小山街づくり

一般会計からの繰出金になります。

計画部長

荒川委員

公債費の残高と、これから予定される利子はわかるか。

小山街づくり

計画部長

平成26年度から平成39年度までで、元金は16億5,693万4,900円、利子は2億955万1,942円です。今回、平成33年度まで事業期間を延長しますと、平成27年度からの7年間で、10億8,557万2,508円が特別会計から支出していくこととなります。仮に、

平成33年度をもって特別会計の継続費を廃止した場合は、残り6億1,821万1,804円を一般会計で継承して償還していくという形になると思います。

荒川委員

繰上償還で利子を節減することは考えられないか。

小山街づくり
計画部長

繰上償還につきましては、財務部で調整するような形だと思いますので、街づくり計画部ではお答えできません。

桑島委員

下水道部は特別会計の時、下水道部主体で繰上償還を行っている。

小山街づくり
計画部長

財務部も交えて検討していきたいと考えています。

【質疑終結】

【意見】

荒川委員

日本共産党を代表して賛成の立場から意見を申し上げます。今回の23億3,318万8千円の継続費の補正について、公債費の返還が46.5%を占めていますが、これは利率の高い時の公債費だと思われるので、ぜひ繰上償還を行い、利子の2億955万1,942円の節減を考えていただきたいということを申し上げて意見といたします。

【採 決】

議案第131号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第130号「平成26年度所沢市一般会計補正予算（第8号）」

当委員会所管部分（街づくり計画部）

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【意見・採決保留】

休 憩 （午前9時55分）

（説明員交代）

再 開 （午前9時59分）

福原委員長

議案第152号に関して、現地調査を行うこととしてよろしいか。

（委員了承）

休 憩 （午前10時00分）

（※休憩中に議案第152号の審査のために、現地調査を行う。）

再 開 （午前11時20分）

○議案第152号「東村山市道を区域内に認定することを承諾すること
について」

【補足説明】 な し

【質 疑】

杉田委員

この道路部分が市に寄附された場合に、市の負担は発生するのか。

佐久間建設総
務課長

寄附された道路部分を東京都東村山市が市道として、維持管理をします
ので、通常の維持管理で所沢市が負担するものではありません。

荒川委員

市内の他の都県境にも今回の議案のような道路はあるのか。

佐久間建設総
務課長

今回の議案のような道路は、東京都東大和市との都県境にある道路のみ
です。

荒川委員

秋津駅周辺の都営住宅周辺に都県境が入り組んだ地域があるが、その地
域の道路などにもあるのではないか。

佐久間建設総
務課長

道路部分に都県境が入り組み、かつどちらか一方の自治体が市道認定し
ている道路は、今回の議案のほかには、東京都東大和市との都県境にある
道路のみです。その他の場合は道路の真ん中や道路の中に境界があり、そ
れぞれの自治体で認定している道路がほとんどです。

石本委員	東京都東村山市の認定時期を伺いたい。
佐久間建設総務課長	来年の3月議会とのことです。
石本委員	契約や協定などはどのようにするのか。
佐久間建設総務課長	東京都東村山市が道路認定した時点で、覚書又は協定書を結ぶ予定です。
石本委員	東京都東村山市が道路認定するまでの間、この道路はどのような扱いとなるのか。
佐久間建設総務課長	東京都東村山市において道路認定されるまでは、西武鉄道株式会社の所有の道路となります。
杉田委員	今回の議案では所沢市部分が少なかったのですが、東京都東村山市に市道認定してもらい維持管理を行ってもらうことはわかるが、仮に所沢市の持ち分がどのぐらい割合であったら、所沢市も道路認定するのか。
佐久間建設総務課長	所沢市部分が3割、4割程度ある場合は、先方の自治体と市道認定や管

務課長

理について協議したいと思っています。

【質疑終結】

【意見】 な し

【採決】

議案第152号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第153号「市道路線の認定について」

【補足説明】 な し

【質 疑】

桑島委員

市道1-885号線の開発業者はどこか。

佐久間建設総

狭山不動産株式会社です。

務課長

桑島委員

市道1-885号線の開発地は高台になっている場所か。

佐久間建設総

北秋津方面から所沢駅方面に向けて高台となっております。

務課長

【質疑終結】

【意 見】 な し

【採 決】

議案第153号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第154号 「市道路線の認定について」

○議案第155号 「市道路線の廃止について」

福原委員長

議案第154号「市道路線の認定について」及び議案第155号「市道路線の廃止について」は、一括審査とする。

【補足説明】 な し

【質 疑】

桑島委員

売払い申請の理由を伺いたい。

佐久間建設総

土地の所有者から倉庫建設のため一体利用をしたいという形で売払い

務課長

の申請が出されています。

桑島委員

農業振興地域の除外の件など、農業委員会での審査過程がどのようになっているか伺いたい。

佐久間建設総

平成26年10月15日付で農業振興地域からの除外をしております。

務課長

平成26年11月21日付で農地転用の許可がされております。

石本委員

定例会開会一週間前の議会運営委員会にて議案の話を聞いているが、平成26年11月21日付で農地転用の許可がされているということは、見切り発車的に議案書を作ったのか。

佐久間建設総
務課長

平成26年10月15日付で農業振興地域からの除外がされており、それを基に農地転用の許可申請がされます。農業委員会に確認したところ農業振興地域からの除外がされ農地転用の申請が出されれば、許可される可能性が高いことから、今定例会に議案として提出させていただいたものです。

石本委員

建設部は農業委員会からの確認が取れば、このような形で議案を提出する判断をするということなのか。

佐久間建設総
務課長

この議案については、市道路線の廃道の議案になりますので、廃道しても差し支えないと判断できた段階で提出させていただいております。

荒川委員

平成26年11月21日の農業委員会の農地部会で、農地転用の許可がされたということは、その前に地区打ち合わせ行われていると思うが、地元農業委員からどのような意見が出ていたか伺いたい。

佐久間建設総
務課長

平成26年10月20日の農業委員会の農地部会では、この農地については、意見が無かったと聞いております。

【質疑終結】

【意見】 な し

【採 決】

議案第154号については、全会一致、可決すべきものと決する。

議案第155号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第130号「平成26年度所沢市一般会計補正予算（第8号）」

当委員会所管部分（建設部）

【補足説明】 な し

【質 疑】

石本委員

道路維持修繕費の補正予算の過去の推移を伺いたい。

長倉道路維持
課長

平成22年度の当初予算5億円、補正額5,000万円、平成23年度の当初予算5億3,000万円、補正額4,000万円、平成24年度の当初予算5億2,700万円、補正はありません。平成25年度の当初予算5億2,000万円、補正はありません。

石本委員

事業概要調書に不足見込み件数95件とあるが、平成22年度と平成23年度はそれぞれ不足見込み件数を何件と見込んで補正額を算出したのか。

長倉道路維持
課長

平成22年度は不足見込み件数を90件、平成23年度は不足見込み件数を80件と見込んで補正額を算出しました。

石本委員

以前に比べ労務単価の上昇や資材の高騰などがあるにもかかわらず、今回の不足見込み件数が95件で5,000万円の補正ということは、1件当たりの単価が安くなっている。補正予算の算出根拠を示してもらいた

い。

長倉道路維持
課長

前年度までの5年間の4月から9月までの件数から上半期の割合を算出して、本年度の上半期の件数に、この割合を乗じて、年間件数を算出しました。年間の件数に平均額を乗じて補正額を算出しました。

石本委員

この2年ぐらいで労務単価の上昇や資材の高騰などが問題視されているのに5年間で計算するというのは現状と合わないのではないか。補正予算を部内で検討する際に議論されなかったのか。

高橋建設部長

1件当たりの平均単価を出すのにあたり、平成24年度と平成25年度の平均単価を参考に出したものを使用したので、労務単価や資材の上昇分を考えると低めに抑えたかたちとなりました。

石本委員

労務単価の上昇などで、95件見込んでいたが予算的に厳しくなり、再度3月定例会で補正予算を出してくる事態にならないのか。件数的に95件というのは多めに見込んでいるのか。

長倉道路維持
課長

不確定な部分もありますので、件数的には少し多めに見込みました。

荒川委員	道路修繕の要望は予算化した他にもあると思う。補正予算を組むか組まないかは財務部の判断なのではないか。
高橋建設部長	建設部の推計で要求させていただきました。
荒川委員	平成24年度と平成25年度は要求しなかったということか。
長倉道路維持 課長	平成24年度と平成25年度は予算内で賄えたということです。
杉田委員	事業概要調書に、6月の梅雨の長雨が影響し、穴ぼこ等の舗装の損傷箇所が多くとあるが、穴ぼこの的な修繕箇所に絞ったら平成24年度と平成25年度に比べ増えているということか。
長倉道路維持 課長	件数にすると大小100件ぐらいの増加です。
石本委員	事業概要調書に、道路パトロールを強化して損傷箇所を早期に発見しとあり、議場でも部長から職員からの通報などという話も出ていたが、職員からの通報件数の推移はどうなっているか。

長倉道路維持 課長	通報件数の資料はありませんが、建設部の職員で行うパトロールの回数を増やしたりしておりますので発見件数が増えております。
桑島委員	市長が所沢カルチャーパークについて、泥んこになって遊ぶ場所と発言しているが、そもそもそのような計画はあるのか。
木崎公園課長	泥んこで遊ぶというのは、自然の中で土などと自然に触れ合うといった表現だと思います。
桑島委員	具体的にカルチャーパークのどこで泥んこに触れ合うことができるのか。
木崎公園課長	体験畑などで直接作付けしたり収穫したりすることが、触れ合うことだと思います。
桑島委員	それはいつできるのか。
木崎公園課長	所沢カルチャーパークの事業年度の平成28年度までに整備する計画となっております。
桑島委員	全体像は計画のまま強行するのか。

木崎公園課長

基本的には、平成11年の所沢カルチャーパーク基本計画に基づいて進めていきます。

桑島委員

いかにも所沢カルチャーパークで泥んこで遊べるようにしたみたいな表現があったので、平成11年からの基本計画のまま粛々と進めているという理解で良いか。

木崎公園課長

そのとおりです。

杉田委員

所沢カルチャーパークの予算に関して、今回の補正のようなことは今まで無かったと思うが、今回補正に至った経緯を聞きたい。

木崎公園課長

所沢カルチャーパークの用地購入費の不足については今までありませんでした。予算を算出する際には、前年度取得した実績を加味して算出するのですが、面積が大きかったことから平米あたりの単価が少しでも変わることにより差が生じてしまう状況でしたので補正をお願いいたしました。

諸星建設部次
長

今回の議案は、土地開発公社で前年度取得した用地を買い戻すための予算ですが、通常の場合のように、前年度の9月から10月頃までに購入したものであれば取得額が確定していますので、これに利息を加算して予算

計上します。今回の場合は、土地の取得が平成26年2月であり契約前に当初予算を組んだ関係で当初予算に不足が生じ、今回の補正となったものです。

【議案第130号当委員会所管部分質疑終結】

【意見・採決保留】

休 憩 （午前11時55分）

【説明員交代】

再 開 （午前11時57分）

○議案第130号「平成26年度所沢市一般会計補正予算（第8号）」

当委員会所管部分

【意見】 な し

【採決】

議案第130号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○閉会中継続審査申出の件（特定事件）

閉会中継続審査申出の件については、別紙のとおり申し出ることとした。

散 会 （午前11時59分）